

2023年度 秋学期 授業に関するアンケート総評

同志社女子大学 教育開発支援センター長 奥田 紫乃

はじめに

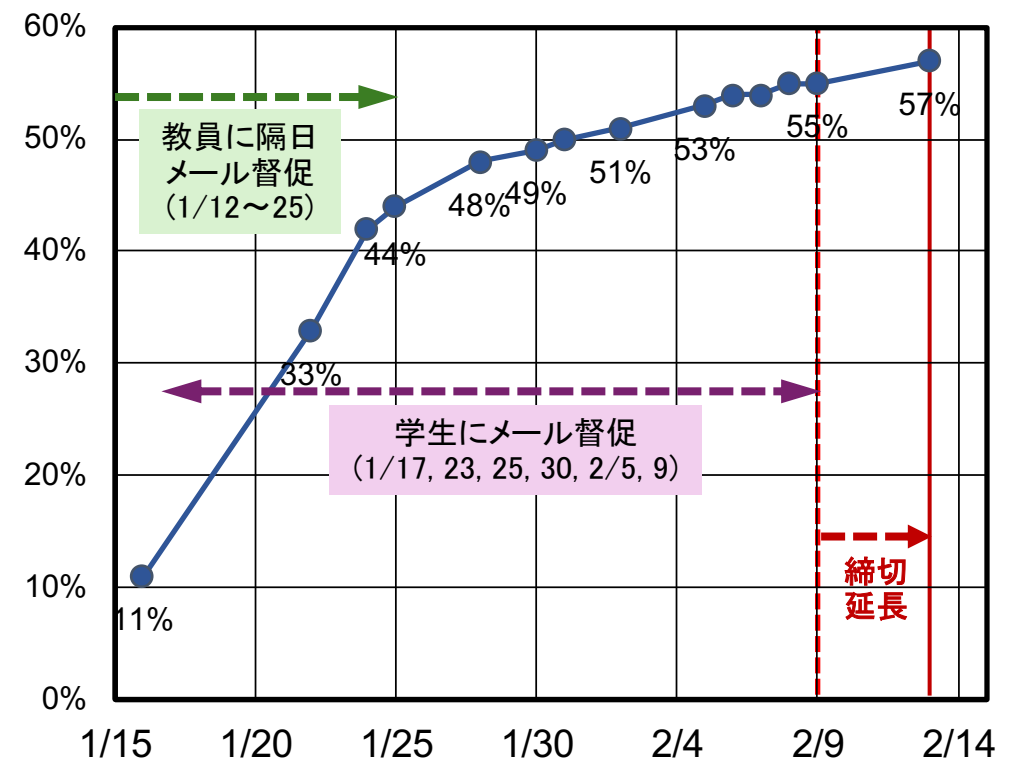
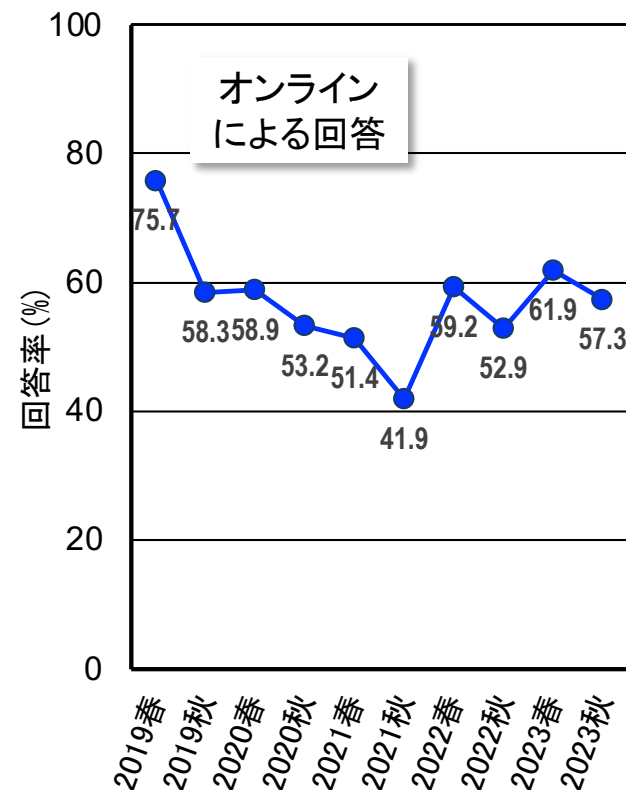
- 「授業に関するアンケート」は、授業の改善を目的として実施されているものであり、その回答は個々の授業に対応した結果である
- この総括は、これらのデータを全学的、または学科・科目区分別に概観することにより、全学的な傾向や各学科の特性を把握し、カリキュラム内容の確認や学生の満足度の向上、教員のFDに役立てるものである

アンケート概要

- 実施期間：2024年1月5日～2月9日（第13～15週目）
- 標準的な実施モデルとして第14週目（1月12日～18日）の授業冒頭での実施を推奨
- マナビーを用いたオンライン方式

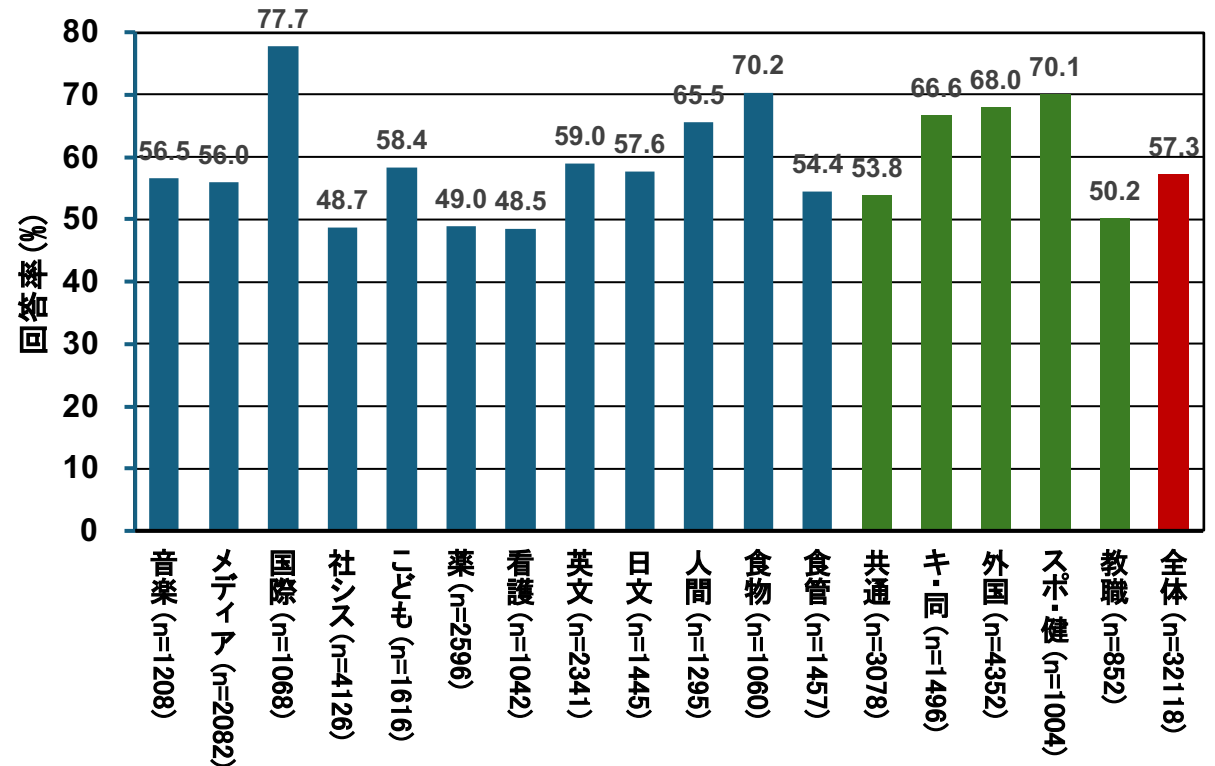
アンケートの回答率

- 2023秋のアンケート回答率は57.3%
- 2023春と比較すると4.6% down,
- 2022秋と比較すると4.4% up
- 授業最終日(1/25)での回答率は44%
- 授業終了後の学生への督促メールにより約10%余上昇



アンケートの回答率

- 国際教養学科(77.7%)、食物栄養科学科(70.2%)の回答率が高い
- スポーツ健康科目(70.1%)、外国語科目(68.0%)
- 「必修授業において他科目の未回答アンケートへの回答も促す」といった工夫を行っている
(2022秋授業に関するアンケート総括より)

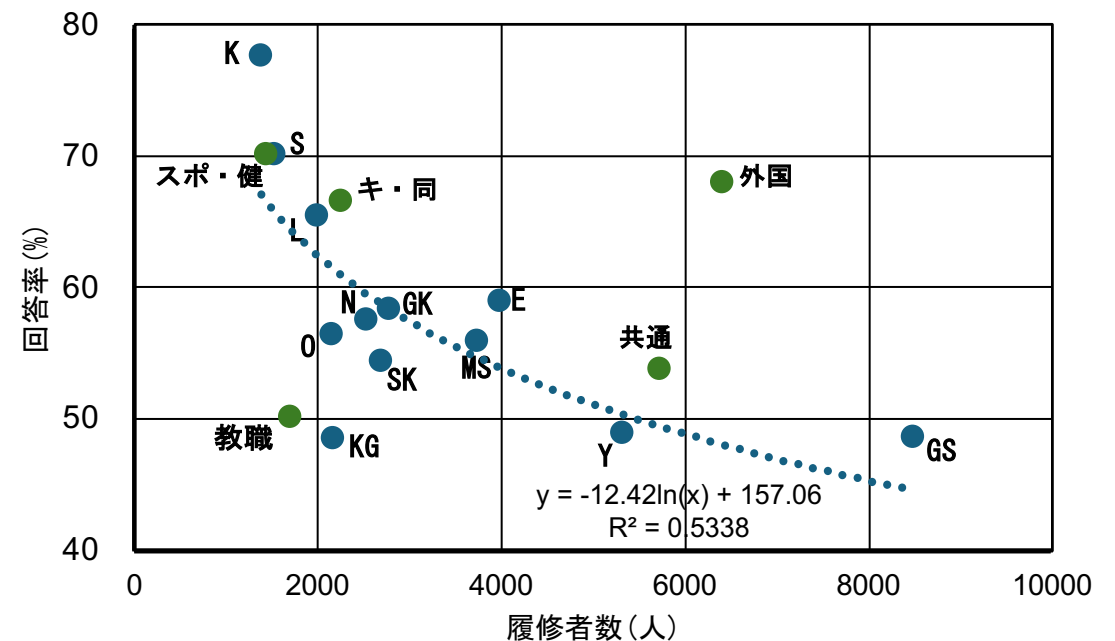


アンケートの回答率について

- 履修者数が多い学科・科目区分ほど回答率が低い傾向
- 受講者数が多いクラスでは、回答依頼に対して反応しない学生もいる（自分ひとりぐらい回答しなくてもよいのではと考えてしまう？）



- 各学科・学年の必修科目やゼミナール科目において、他科目も含めて授業アンケートに回答するよう呼びかける



* 点線は学科回答率の近似曲線

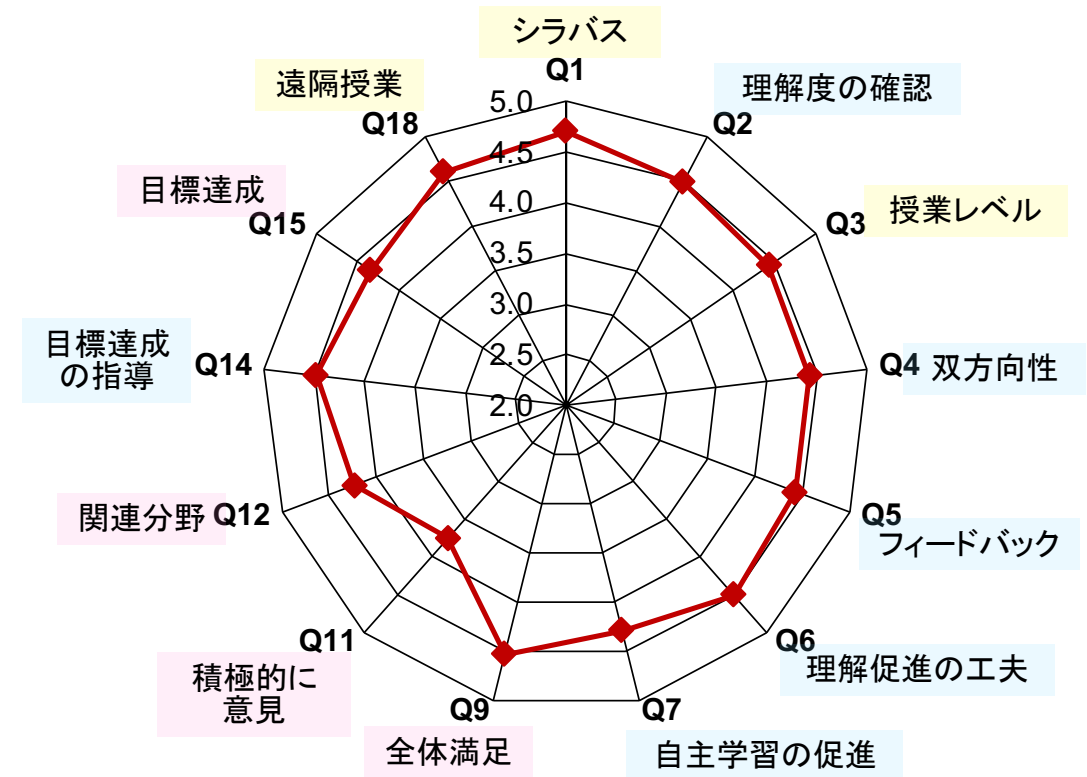
アンケート項目

Q1	授業内容はシラバスに合っていましたか。 The course was conducted according to the syllabus.
Q2	受講生の理解度を確かめながら授業が進められていましたか。 The course was conducted in accordance with students' degree of understanding.
Q3	授業レベルは自分に合っていましたか。 The course level was appropriate.
Q4	教員からの一方的な授業ではなく、教員と受講生または受講生同士の双方向性に工夫がされていましたか。 The instructor encouraged students' participation and interaction.
Q5	フィードバック(例 採点、添削、チェック後の返却、マナビーでのコメント、質問に対する回答など)は効果的におこなわれていましたか。 The instructor's feedback on course assignments was effective and helpful.
Q6	言葉による説明だけではなく、受講生の理解を促進する工夫がなされていましたか。 The instructor implemented or provided support not only by oral explanation but also in any other ways to help deepen your understanding.
Q7	自主学習を促す工夫がなされていましたか。 The instructor encouraged students to conduct work outside of the class.
Q8	工夫してほしいと思ったことを選んでください(複数選択可、なしも可)。 Select anything that could be improved in the course. (Select as many or as little as necessary.)
Q9	この授業は全体として満足できる内容でしたか。 You were satisfied with taking this course.

Q10	この授業の予習、復習、自主学習(授業時間90分を除く)に1週当たり平均どれくらい時間をかけましたか。 Indicate the the average weekly time for preparation, review, and self-study (excluding 90 minutes of class time) for this class.
Q11	あなたはこの授業で積極的に意見を述べたり質問をしたりしましたか。 You participated actively in the form of questions and constructive comments.
Q12	あなたはこの授業の分野または関連分野の学習をさらに深めたいですか。 You want to study deeper about this or related subjects.
Q13	あなたがこの授業を履修した理由はなんですか(複数選択可)。 Choose the reasons for taking this course.
Q14	到達目標を達成しやすいように指導がなされていましたか。 The course was conducted in a way that allowed the course objectives to be easily achieved.
Q15	あなたは到達目標を達成できたと思いますか。 You achieved the course objectives.
Q16	DWCLA10のうち、この授業の履修を通して向上したと感じられる力をすべて選んでください(複数選択可、なしも可)*16番と17番は1つの質問として回答してください。 Choose the abilities or skills from the DWCLA 10 which you have improved through the course study.
Q17	(16番続き)DWCLA10のうち、この授業の履修を通して向上したと感じられる力をすべて選んでください(複数選択可、なしも可) (Continuation from #16)Choose the abilities or skills from the DWCLA 10 which you have improved through the course study.
Q18	遠隔での授業は滞りなく行われましたか?※遠隔授業が行われた場合のみ回答してください。 You could take distance learning lessons without problem.

本学全体のアンケート結果の傾向

- Q11(積極的に意見)以外の項目において、平均4.0以上の評価
 - Q6(理解促進の工夫) およびQ14(目標達成の指導)は全学平均4.5、全ての学科・科目区分4.3以上
 - Q9(全体満足)は全学平均4.5、全ての学科・科目区分4.4以上
- ↓
- 全学的に、教員は学生の理解促進・目標達成に尽力し、学生は授業に概ね満足している



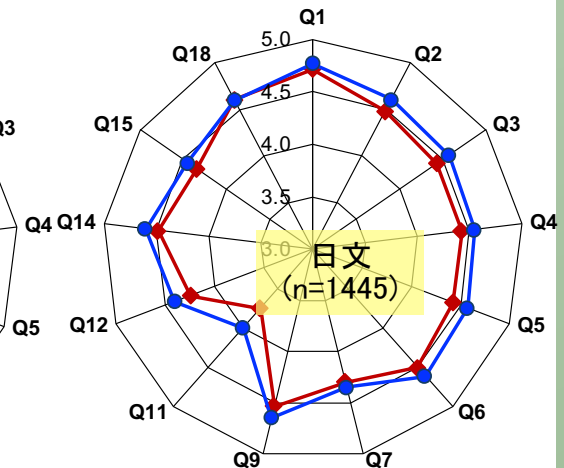
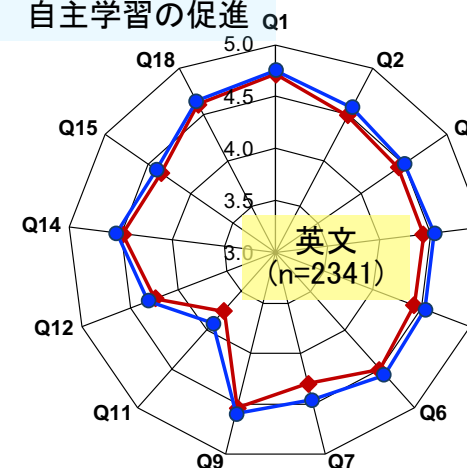
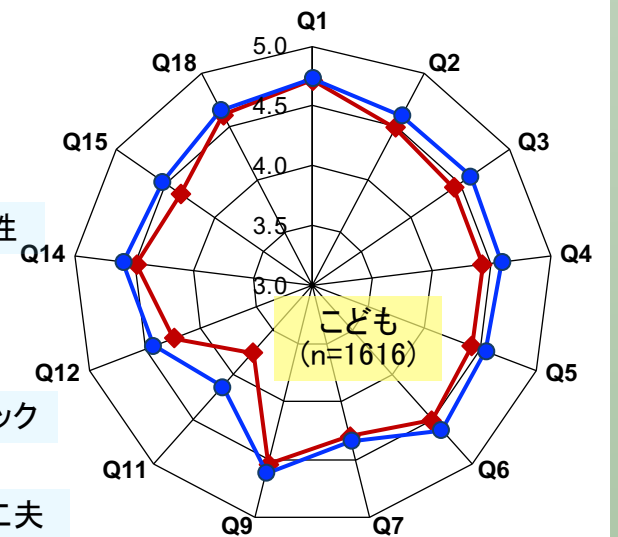
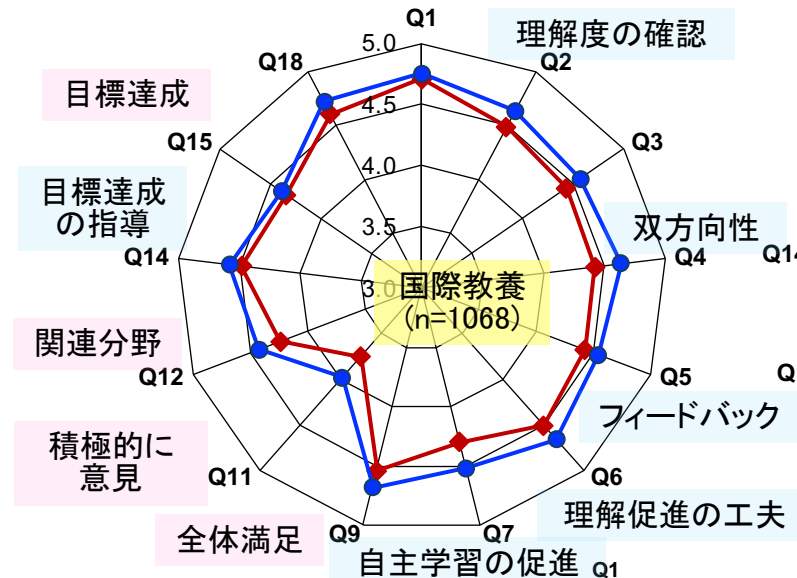
* 各項目における全学回答者数のうち「その他」「未回答」を除いた回答数を母数として算術平均値を算出

本学全体のアンケート結果の傾向

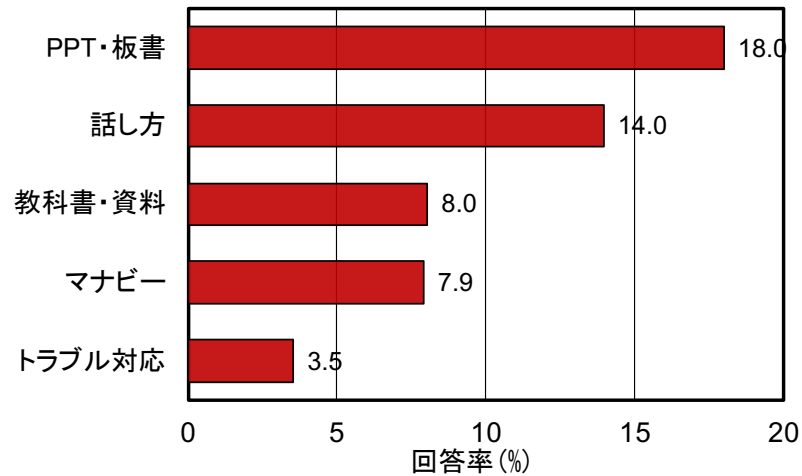
- 国際教養学科、現代こども学科は、全ての項目において高評価
- 英語英文学科、日本語日本文学科も評価が比較的高い
- Q11(積極的に意見)やQ4(双方向性)、Q2・Q6(理解度の確認・工夫)の評価が全学平均より高い



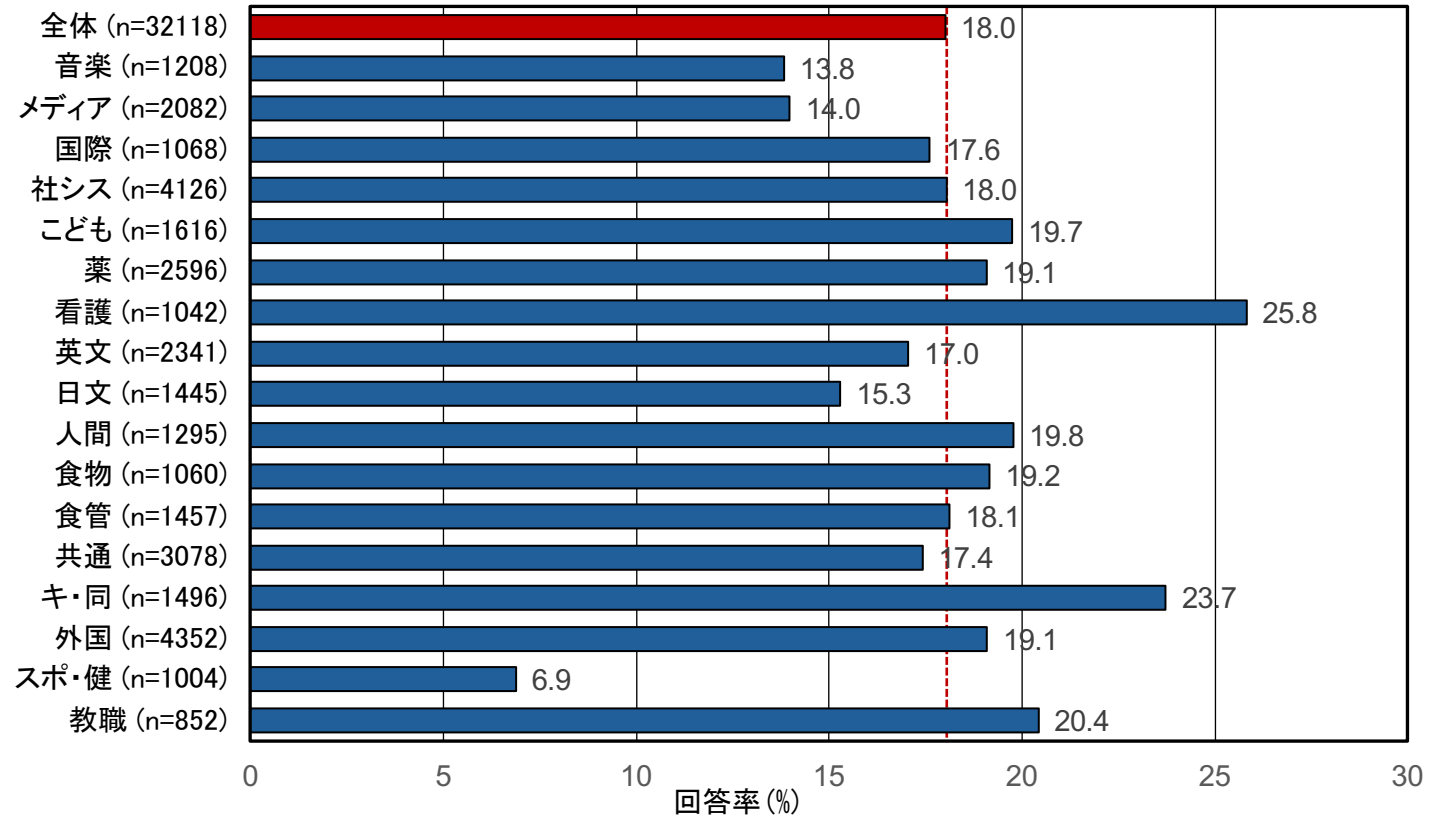
- 教員と学生、学生同士の双方向性や、学生の積極性を向上させることが授業評価の向上につながる



教員に求める工夫

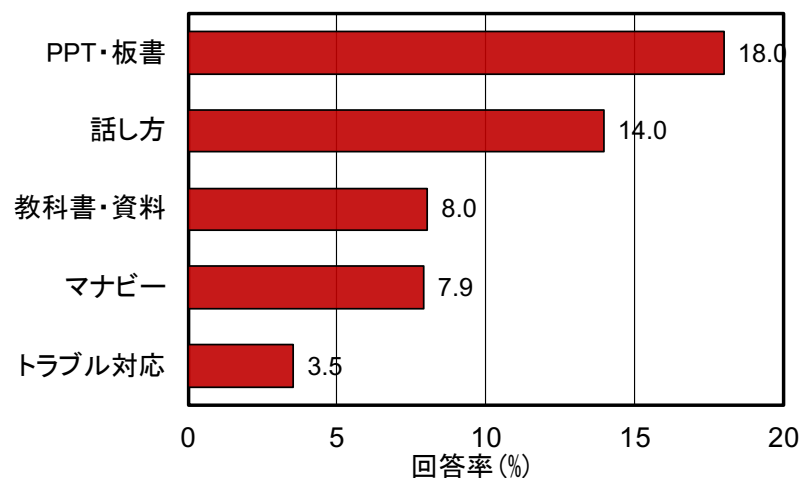


- 全学平均値では、**18%**の科目で「**わかりやすいスライド・板書**」に工夫が求められている

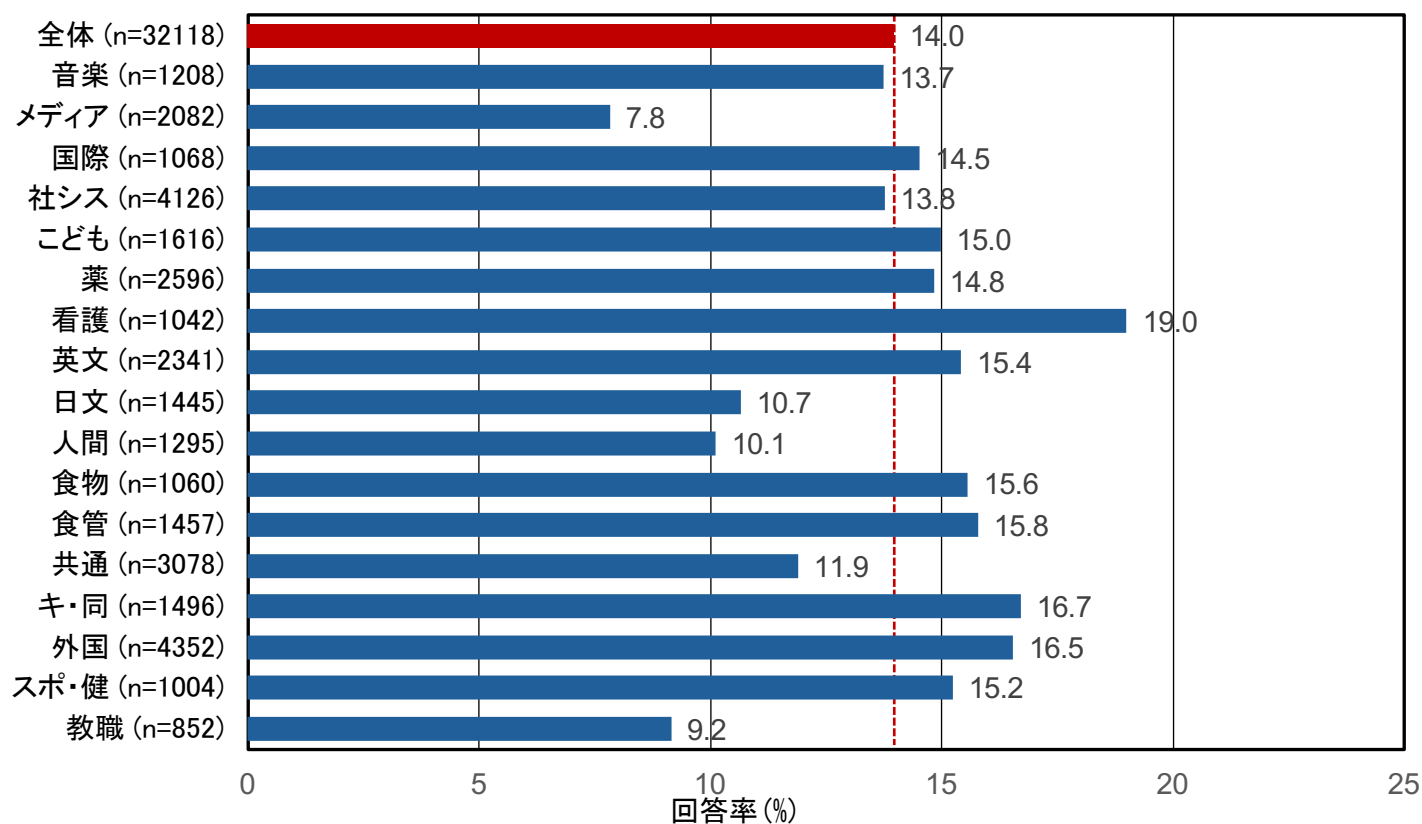


「わかりやすいPPT、板書」に工夫を求める回答率(学科別)

教員に求める工夫



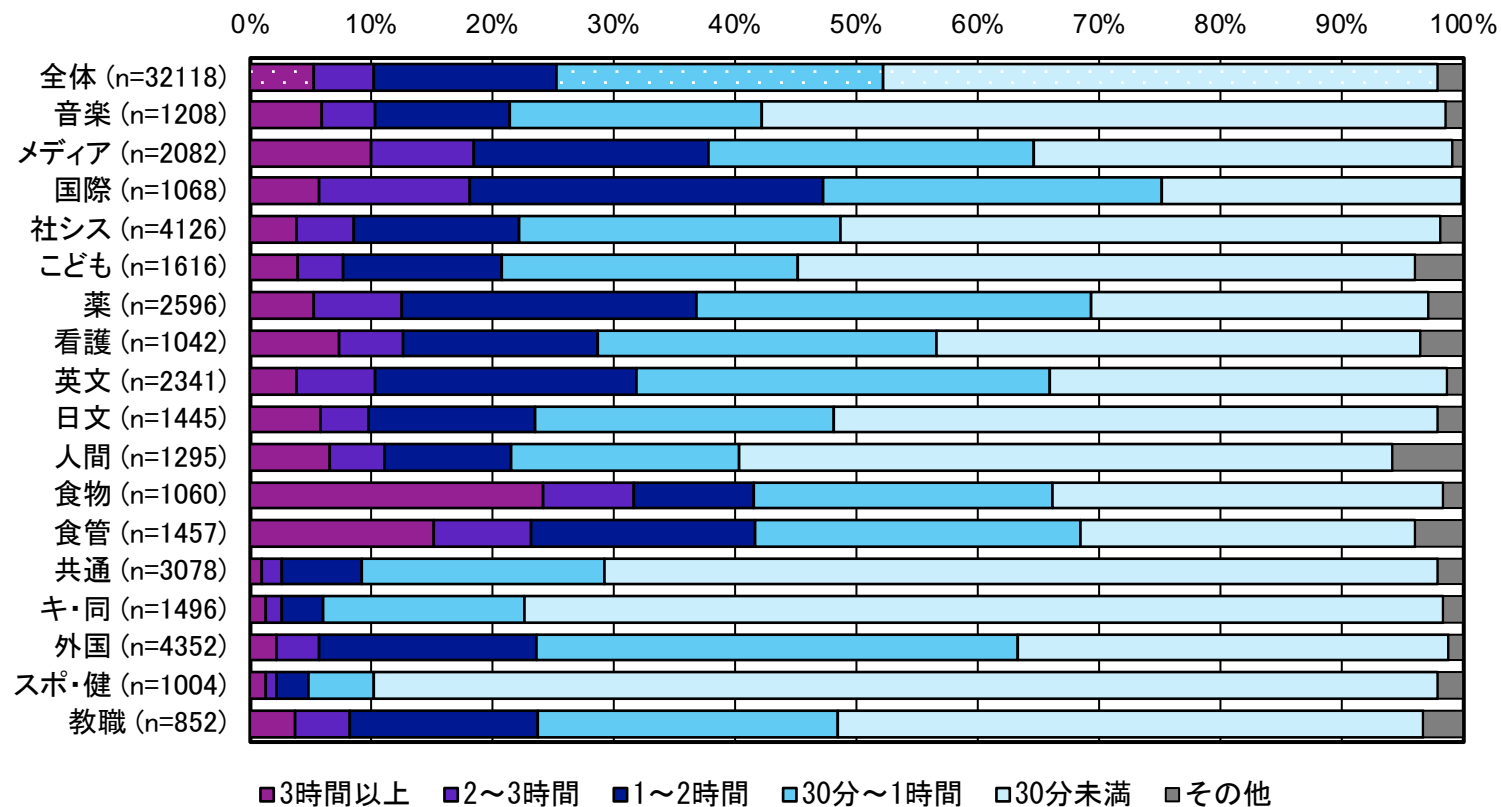
- 全学平均値では、**14%**の科目で「**聞き取りやすい話し方**」に工夫が求められている



「聞き取りやすい話し方」に工夫を求める回答率(学科別)

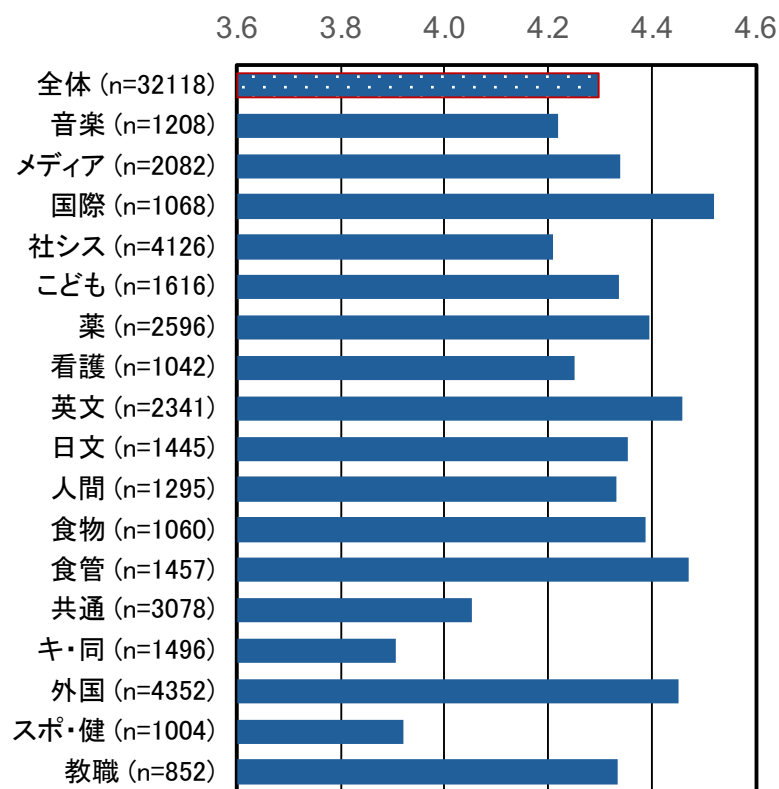
授業外学習時間について

- 全学の73%の科目で授業外学習時間が1時間未満
- 食物・食管で2時間以上の学習時間をもつ割合が高い
- 国際・食物・食管の40%以上、薬・メディアの30%以上の科目で1時間以上の学習時間

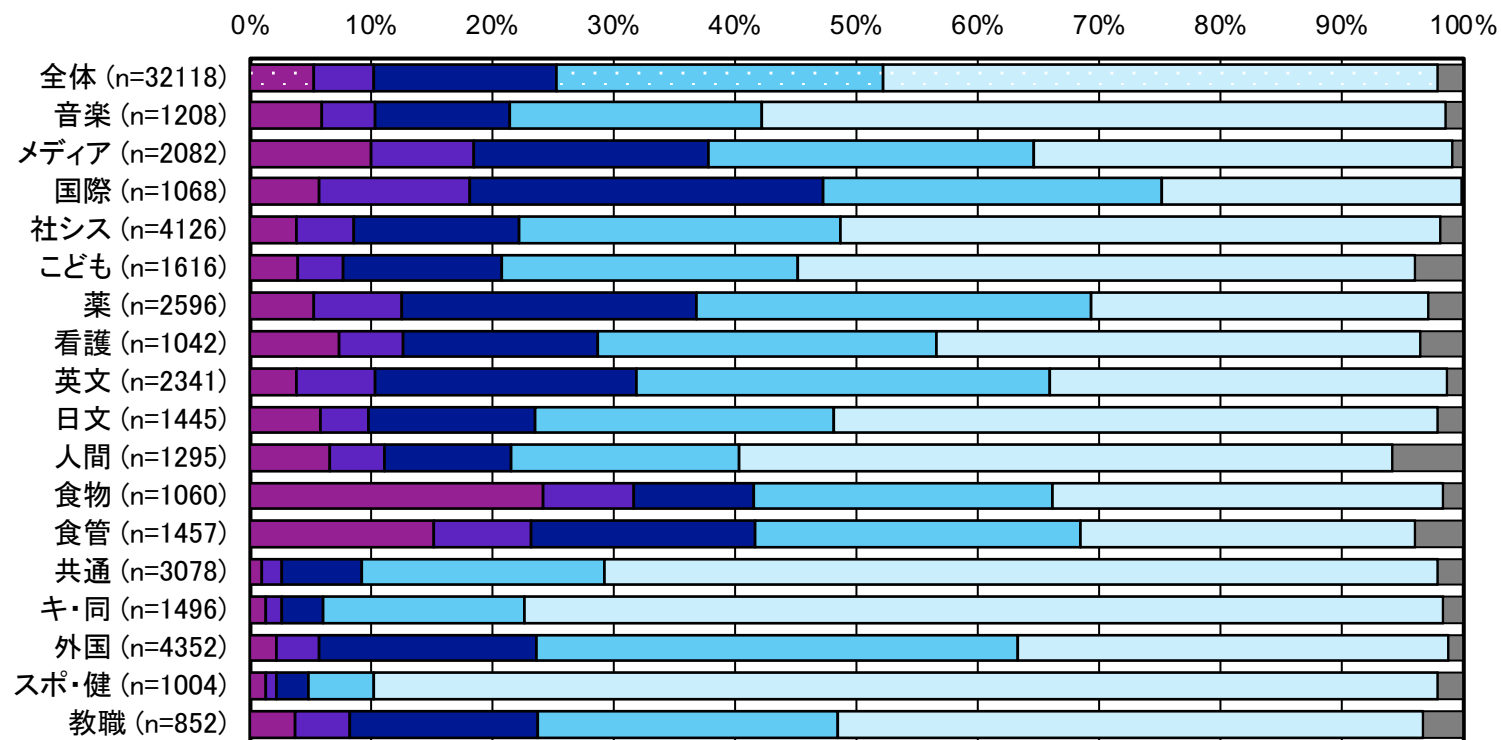


1週あたりの授業時間外学習時間 (学科別)

授業外学習時間について



「自主学習を促す工夫」に対する回答率(学科別)



■3時間以上 ■2~3時間 ■1~2時間 ■30分~1時間 □30分未満 ■その他

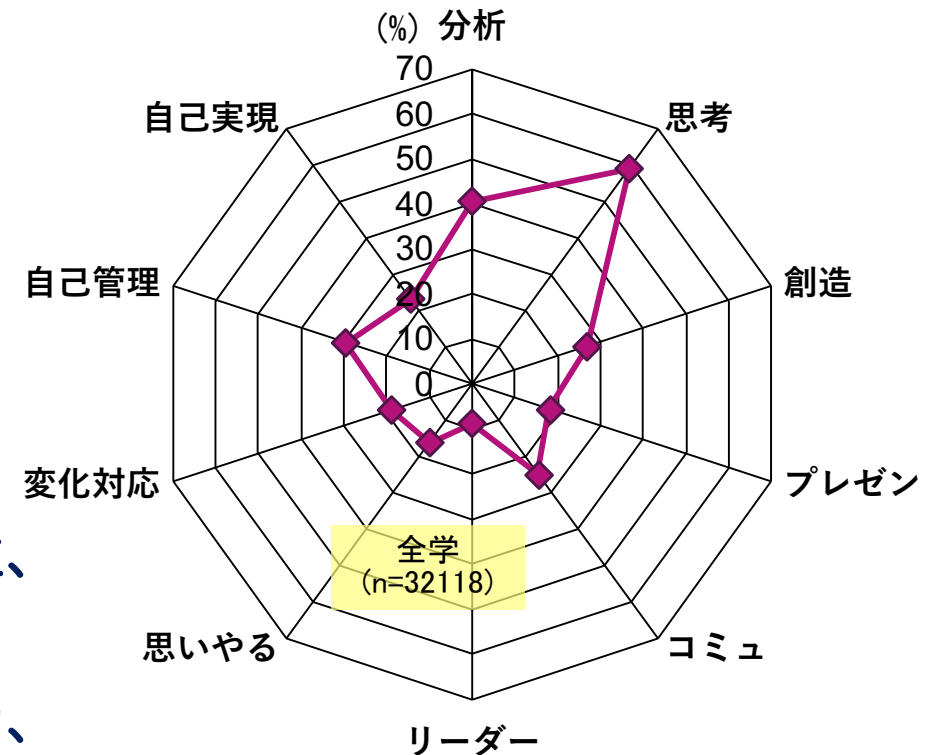
1週あたりの授業時間外学習時間(学科別)

授業で向上した力 (DWCLA10)

- 授業で伸びたと感じる力は思考力(59.1%)が最も多く、次に分析力(40.7%)が多い
- 自己管理能力(29.6%)、創造力(26.8%)、コミュニケーション力(24.7%)、自己実現力(23.5%)がそれに続く

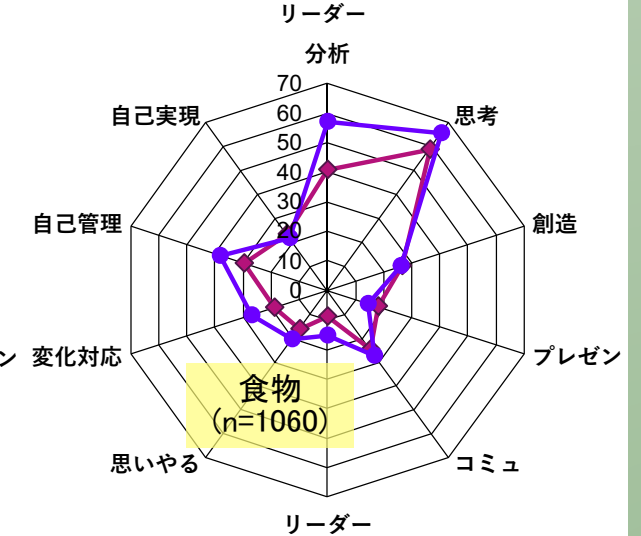
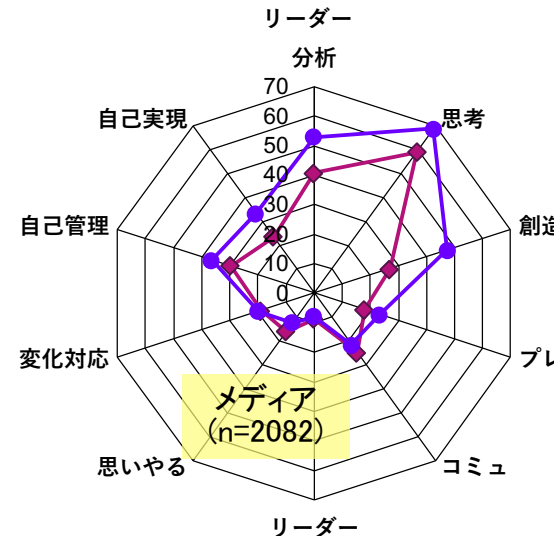
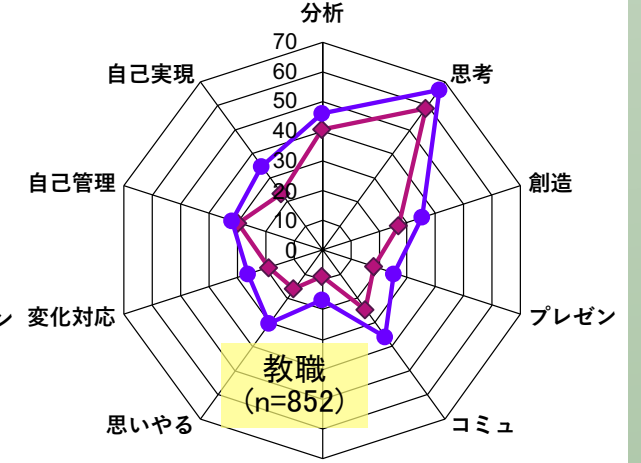
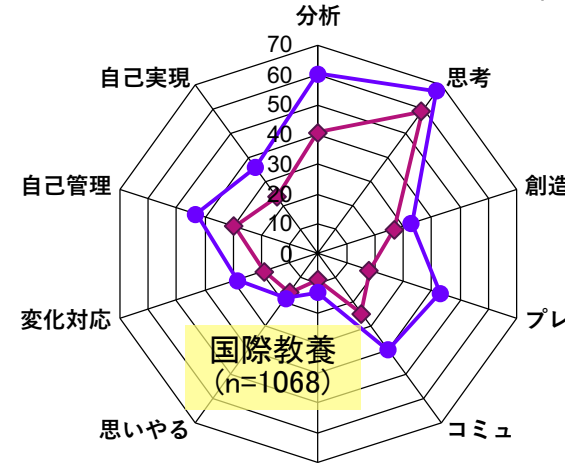


- 各学科・科目区分の特性にもよるが、教員と学生、学生同士の双方向性や、学生の積極的性を向上させることで、コミュニケーション力やプレゼン力、自己実現力の向上に繋がる可能性あり



授業で向上した力 (DWCLA10)

- 国際教養学科では、思考力(67.4%)、分析力 (60.4%)のほか、自己管理能力 (43.1%)、プレゼン力(43.0%)、コミュ力(39.8%)も約4割を占める
- 教職科目では思いやる力(30.6%)、コミュ力(35.9%)、メディア創造学科では創造力(47.4%)、食物科学専攻では分析力(57.1%) など、各学科の学びの特性がみられる
- 各学科の特性を考慮しながら4年間で全ての項目が獲得されることが望まれる



まとめ

- 2023年度秋学期のアンケート回答率は57.3%、同年度春学期比－4.6%、前年度秋学期比＋4.4%であった。教員への実施督促を継続するとともに、学生に対する回答促進方策を検討する
- 全学アンケート結果は良好であり、教員は学生の理解促進・目標達成に尽力し、学生は授業に概ね満足していることが読み取れるが、スライド作成や板書、話し方において工夫の余地がある
- 時間外学習時間が1時間未満の科目は全学の約7割であり、自習学習を促すための工夫が教員に求められる

付録:回答基準

【回答基準】 Q1~Q7、Q9、Q11~Q12、Q14~Q15、Q18

5: と思う Agree 4: やや と思う Somewhat Agree 3: あまり と思う ない Somewhat Disagree
2: と思う ない Disagree その他: 未回答 Unanswered

Q8: 5.分かりやすいパワーポイント板書 Effective use of teaching aids such as power point slides or boardwork 4.聞き取りやすい話し方 Clear and strong voice 3.教科書や配布資料の活用 Effective use of textbook and handouts 2.マナビーの活用 Effective use of Manavi system 1.トラブルへの対応 Trouble shooting その他: 未回答 Unanswered

Q10: 5.3時間以上 3hrs. or more. 4.2時間以上3時間未満 2hrs. to less than 3hrs. 3.1時間以上2時間未満 1 hr. to less than 2hrs. 2.30分以上1時間未満 30min. to less than 1 hr. 1.30分未満 less than 30min. その他: 未回答 Unanswered

Q13: 5.授業内容に興味・関心があった Interest in the class contents 4.授業方法に興味・関心があった Interest in the method of class instruction 3.成績評価方法・基準に興味・関心があった Interest in the grading method 2.先輩や友人等のすすめ Recommendation from seniors or friends 1.卒業又は又は免許・資格取得のための必修科目だから Requirement for the graduation and specific license or qualification その他: 未回答 Unanswered

Q16: 5.分析力 Analytical ability 4.思考力 Thinking power 3.創造力 Creative ability 2.プレゼンテーション力 Presentation skill 1.コミュニケーション力 Communication skill その他: 未回答 Unanswered

Q17: 5.リーダーシップ力 Leadership 4.思いやる力 Capacity for compassion 3.変化対応力 Responding to change 2.自己管理力 Self-management power 1.自己実現力 Ability for self-realization その他: 未回答 Unanswered